



平成23年06月16日

各 位

会社名 株式会社 タダノ
 コード番号 6395
 お問い合わせ先 執行役員企画管理部長
 北村 明彦
 TEL (087)839-5600

業績予想に関するお知らせ

平成23年4月28日に公表しました「平成23年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて未定としておりました平成24年3月期業績予想について、東日本大震災の生産面や販売面への影響を勘案し、下記のとおり決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 第2四半期(累計)連結業績予想 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	47,000	200	0	0	0.00
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	41,333	△2,285	△2,593	△2,950	△23.21

2. 通期連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	110,000	2,800	2,500	1,500	11.81
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	89,807	△3,733	△3,886	△6,722	△52.90

3. 業績予想の概況

当社グループを取り巻く市場環境は、主力の建設用クレーンにおいて、欧州市場では回復の足取りが重いものの、北米市場が回復に転じ、エネルギー関連を始め各種プロジェクトによる需要の増加もあって海外需要は総じて回復、国内需要は老朽化による買い替えで回復を見込んでおります。また、車両搭載型クレーンの国内需要は減少、高所作業車の国内需要は回復を見込んでおります。

なお、現時点では、建設用クレーンの復旧・復興関連の国内需要増加は見られておりません。

一部部品の調達難から主力の志度工場でラフテレーンクレーンの一時ライン停止や減産を余儀なくされて参りましたが、徐々に解消し、今後の調達にも一定の目処がつきつつあります。車両搭載型クレーンや高所作業車の生産もトラックの入荷遅れが徐々に解消見込みであります。

このため、第2四半期以降に、第1四半期の生産や販売の遅れを取り戻すべく、グループの総力を挙げて、取り組んで参ります。

なお、千葉工場以外の3工場(志度工場・高松工場・多度津工場)はすべて香川県内にあり、夏場の電力不足の生産面への影響は、直接的・間接的を含め、軽微と見込んでおります。

前提為替レートは、80円/ドル・115円/ユーロとしております。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上